

1976 (毎月1回発行)

8月号

(村の面積)
332.60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和51年7月1日現在)

村の人口	1,976人
総人口	1,010人
男	966人
女	1人
出生	2人
死亡	1人
転入	13人
転出	569世帯
世帯数	

7月15日開園



住民を交通事故から守るため、このほどミニ交通公園が開園されました。

夏の交通安全 県民運動！

七月二十一日から、八月二十日までの一ヶ月間、夏の交通安全県民運動が実施されます。

警察では、この運動の重点を

。子供と老人の事故防止

。無謀運転の防止

。自転車事故防止

の三つに絞り、強力な取締りを予定しております。

特に悪質な

飲酒、無免許、スピード違反

等は、徹底的な取締りを実施します。

当村におきましても、交通安全協会を中心に、関係団体と協力し、

(一) 七月二十五日、八月一日、八月八日の三日間、交通安全茶屋

の開催。

(二) 八月十四日、八月十五日、八月十六日の三日間、

旧盆街頭指導の実施。

等を行なう予定です。

みなさん、交通事故は他人事ではありません。当村から、交通事故の犠牲者を出さないよう、ひとりひとりが注意し合い、村民総ぐるみの体制で、この運動の推進にご尽力下さるよう、お願い致します。

第50回臨時議会

助役に平野 勇氏(再任)
収入役に宮原公夫氏



宮原公夫氏



平野 勇氏

和泉村議会第五十回臨時議会は、去る七月二十六日招集され昭和五十一年度と和泉村一般会計補正予算案(第二次)が原案どおり可決しました。

また、任期満了にともなう、助役、収入役の選任について議会の同意を求める議案審議が提出され助役に平野勇氏(五)再任、収入役に宮原公夫氏(五)を同意可決しました。

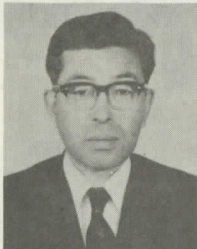
就任の挨拶



議長 吉川 基

去る、六月定例会に於て、三たび、議長の要職にご推挙いただき誠に身に余る光栄と心から感謝感

就任の挨拶



副議長 土谷利美

当村においては昨年、一昨年と村民の長らく強く要望しておりました総合福祉センター、並に大納

美線については、国鉄財政等諸般の事情に依り、情報も得られませんが、たゆまぬ努力と熱意を以て促進運動を続けたいと存じます。

農林業の振興は振興山林事業等の推進に依り、基盤或は圃場整備また特(用)殊林産物の生産については、村民各位の深いご理解に依り成果を納めつ、ありますが、今後パイロット事業の推進に依り一層の充実を期すべきと考えます。

商工業の振興、観光事業の推進は過疎対策等の問題を充分考慮に入れ、特に人口の減少は憂うべき現状であり、今後の村政に極めて深刻な問題であり、理事者と共に真剣に取組んで居りますが、村民各位のご協力と英知を結果して、その対策の実現を図らなければならぬと痛感いたしました。和泉村の将来を真剣に考えなければならぬ重要な時期であります。

何卒一層のご指導とご協力をお願い申上げ、就任のご挨拶といたします。

体育館等の立派な施設が完成し、福祉行政の前進充実が計られ、又一方では谷戸口隊道の完成と路面整備、更には馬返しトンネル、影路トンネル等の年内完成、近い将来の電話の自動化の実現等々、和泉村内、外の交通、通信網の整備は一段と充実され、数年前と比較した場合、数段の発展を見たという感じがいたします。

しかしながらこれで事足りたというのではなく、当村にとつてはまだまだ将来に数多くの問題が山積してあります。先づ最大の悩みは極度の過疎化問題であります。本問題解消のためのキメ手は目下のところ見当らず、全く暗中も索の過程にあり、吾々議員も本問題については真剣に取り組んでいるところではあります。本問題は村民全員が一丸となつてとり組まねばならぬ重大問題であります。

地下資源の開発の重要性は本村にとつて当然のことながら、観光開発にしても道路、鉄道の整備促進も重大であります。越美全線の開通、油坂トンネルの開設はまだこれからの問題であり、後野方面の道路整備も産業開発上ばかりでなく住民の福祉向上、観光上からも一刻も早く完備されなければならぬ問題であります。

加えて社会経済不況低迷は、国および地方自治体の財政上にも大きな危機を与えており、全国的に苦しい財政事情の中でそれぞれ行政執行に余儀なくされている現状

下であります。以上申し述べましたことは問題の一部ではございますが、農林水産業、商工業、林業、社会福祉、教育等々に関しての諸問題も全て財政窮迫下のもと、当面の過疎現象下の中でなんともしてもいや応なしに取り進めて行かねばならぬところでありませぬ。

こうした重大な時期に先般の定例会においてはからずも不肖私が副議長をおおせつかった次第でございますが、その責任の重大さを痛感いたしております。

村民の皆様のご期待に沿うようでき得る限り頑張つて議長を補佐し将来の和泉村のため微力ながら努力いたしたいと存じますので、この上とも皆様の御指導を賜わりたく、ここに就任の御挨拶を申し上げます。

高額療養費の自己負担限度額引上げ

額引上げ

医療費の改定にともない保険財政のひん迫という現状下で、社会保険審議会において審議されていきました高額療養費の自己負担限度額が、三万円から三万九千円になり、八月一日から実施されます。

これにより国民健康保険で診療を受けられた場合、自己負担が三万九千円以上でないと、高額の対象となりません。



和泉村では交通安全茶屋を開設し、観光客や所用で和泉村を通行する車に「ちょっと一ぶく」してもらい、冷いお茶をサービスし、風船、マッチ、パンフレットなど配付して、旅の疲れを少しでも休めて戴きたいと思っております。

今年になって福井県では、6月10日現在で、交通事故の発生が一三〇件、死者が二四名、負傷者が一九一〇名という、いたましい数字を出しております。又暑い夏がやって参りました。いつものことですが、学校生活から開放された子供の事故が増えることでしょう。交通事故の始末が、無ぼう運転、過労、飲酒、スピードの出し過ぎ、などから発生し重大事故につながっております。



夏の防犯運動の推進について

交通安全茶屋は、和泉村を始め警察、和泉村交通安全協会、その他、各種団体協力のもとに実施しております。

暑い夏の日を、ドライバーの皆さんが、暑さに負けず正しい運転をされるよう祈りながら、各日曜日、交通安全茶屋を開設いたしております。

- 夏に入り、各種犯罪、事故、少年非行、水死事故等が予想されます。警察では、七月一日から、八月三十一日までの間、夏の防犯運動を実施し、防犯隊、関係機関と協力して、効果のあがるよう努力しております。
- (1) 現在までの実施状況
- 七月八日 防犯隊幹部とともに、和泉村管内の水死危険カ所の実態調査を実施し、危険カ所については、防護策を講じるよう、早急に連絡しました。
- (2) これからの活動状況
- (ア) 防犯隊との一斉夜警 八月七日
- (イ) 少年協働員との街頭補導 七月下旬
- (ウ) 防犯隊との盆夜警 八月十四から十七日
- 以上のように活動の実施状況、ならびに、今後の活動計画を、お知

老人クラブ慰安会 老人福祉センターにて行なわれる



老人クラブ慰安会が去る七月六日老人福祉センターにおいて行なわれました。

従来は、温泉地を中心に慰安旅行が実施されましたが経費負担の増大、あるいは参加者の限定など、問題点があったため、本年は旅行に替えて老人センターを利用した慰安会が行なわれ、いままでの旅行でからだの不自由、又は病弱な為参加できなかった方々も、センターに集り、村内老人全員が一堂に会しました。

らせいたしましたが、御家庭のみなさんに、おかれましては、「自主防犯活動」を促進し、外出時の戸締り、火災の予防、小暴力事犯があった場合の連絡、子ども、老人の交通事故防止等に注意していただき和泉村全体の防犯体制を確立していただきたいとおもいますので、協力をお願いします。

少年をめぐる環境浄化活動の推進

少年をとりまく有害環境の浄化につきましては、警察、防犯隊、少年警察協働員、和泉村青少年問題協議会等、従来から鋭意努力してきたところでありますが、最近少年に対し、性的感情を著しく刺激し、または、残虐性を助長するおそれのある不良出版物等、または、少年の転落や非行化の温床となりやすい享乐的な諸営業が目に見えるなど、今日少年をとりまく社会環境は、きわめて憂慮すべき状況にあります。当和泉村としても、少年の非行化を防止するため、地域ぐるみによる環境浄化活動を展開していきたいと思っております。

警察では、少年警察協働員との、合同街頭補導、および、不良出版物の排除等、強力な取締りを実施しております。

少年の健全な育成を図るため、少

慰安会、午前九時より京都の安本先生による法話が行なわれました。又、十一時から体育館において、宴会や演芸が行なわれ、老人の方々は、昔の思い出を話し合ったり、料理に舌づつみ、演芸を見ながら、有意義な一日を送られました。

伸びゆく和泉村民運動 推進協議会 本年度の重点目標をきまる

村民の総意によって、福井県で制定された県民指標を心のよりどころとし、日々の生活の反省にたつて人間的な豊かさ、やすらぎのある希望に満ちたふるさとづくりの実現を図るための運動を展開することを基本方針として去る七月二十日午後六時より役場において、伸びゆく和泉村民運動推進協議会が開催され、みどりにひかりを、豊かな郷土をスローガンに次のような重点目標が決まりました。

◇重点目標

- 一、花だんづくり運動推進
- 一、ゴミをなくする運動推進
- 一、時間を守る運動

キャンプ・魚つり 水遊びに注意

出水期に入り、集中豪雨による河川の増水が予想されます。驚ガムのゲートからの放水だけでなく、石徹白ダムや山原ダムも洪水のため、自然に越流します。キャンプ、魚つり、川遊びには充分注意して下さい。

電源開発株式会社
長野地区発電管理所

